

第1回和光市環境基本計画市民策定委員会 要旨

日時 平成21年11月18日(水)

午後2時～3時30分

場所 和光市役所 603会議室

出席委員：渡辺委員、岩田委員、小林委員、高橋委員、都築委員、友國委員、松田委員、金子委員、大澤委員、北畑委員、柳下委員、今里委員、黒澤委員、横溝委員、矢嶋委員、廣川委員

事務局：松本市長、富澤市民環境部長、粕谷環境課長、川辺環境課長補佐、川野環境推進担当統括主査、平川水と緑担当統括主査、丸山環境推進担当主査

傍聴者：なし

1. 概要

次第のとおり。今回は第1回目の開催のため、市長からの挨拶及び各委員へ委嘱書の授与、自己紹介及び委員長、副委員長の選出を行った。委員長には黒澤委員、副委員長には松田委員が選出された。

2. 審議

事務局から、配布資料に基づき、第二次環境基本計画策定に関して概要説明と質疑応答を行った。

- ・環境審議会と市民策定委員会の関係は。

[答弁] 審議会は、市長の諮問に応じ審議を行う機関であり、策定委員会は、実際の計画策定を中心的に行う機関である。策定委員会と庁内の調整委員会とである程度の案を作り審議会に諮る。策定期間中は、お互いに情報を共有しながら進めていく。

- ・庁内検討体制で職員提案があった場合、策定委員会に提示してほしい。

[答弁] 提案があれば、策定委員会に提示する。

- ・第1次の計画は平成22年度で終了する。第1次の計画でよいテーマは第2次に引き継いでいく。

- ・第1次の計画で実行できたこと、できなかったことを示してほしい。

[答弁] 次回の会議までに、資料として配布する。

- ・和光市の環境に対しての、市民ニーズはどうなっているのか。
- ・第1次の計画策定時と現在の和光市の状況の変化はどうか。
[答弁] 次回の会議までに、事務局の見解を取りまとめて配布する。
- ・第2次の計画期間が10年間となっているが長すぎる気がする。10年先を見据えた計画がはたして作れるか。
- ・事務局より策定委員会を2つの分科会（自然環境、都市環境）に分ける提案をしたが、2つに分けると分科会同士の整合性が取れるのか、すり合わせができるのか、疑問視する意見があった。